

2016年4月26日(火)
 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 TEL: 03-5283-6911(代表)

MDV診療データ調査リリースvol. 10 「2014年及び2015年における薬剤処方金額実態調査」

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:岩崎 博之)は、2014年及び2015年における薬剤処方金額についての調査結果を発表いたします。

【サマリ】

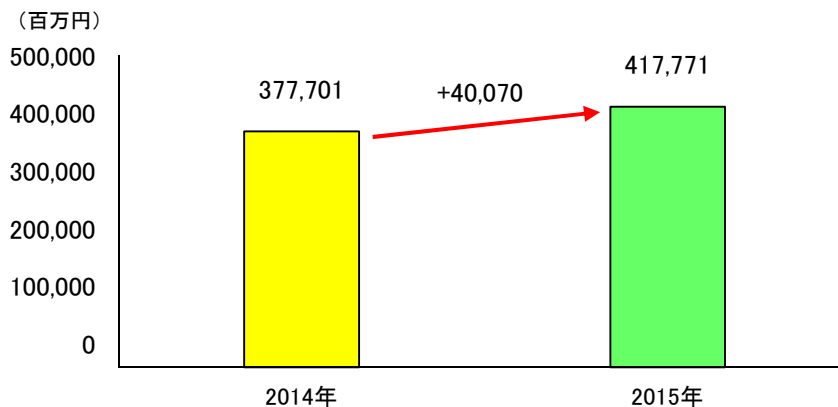
- 2014年から2015年の全製品における増加処方金額のうち、65%を処方金額上位10製品が占める結果に。
- ハーボニー、ソバルディが処方金額を急激に伸ばし、2015年10月-12月には1位・2位にランクイン。
- 2014年以降に発売された新薬の処方金額ランキングTOP10にC型肝炎、抗がん剤がランクイン。
- 点数設定方式Dに分類されたオプジーボは、発売以降処方金額・実患者数ともに大きく増加。

■ 2014年から2015年の全製品における増加処方金額のうち、65%を処方金額上位10製品が占める結果に。

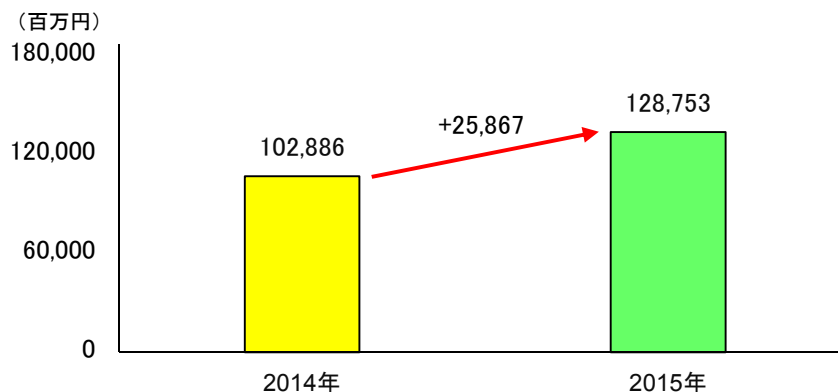
はじめに、2014年及び2015年の1月-12月における全製品の薬剤処方金額推移と、同年の薬剤処方金額上位10製品の合計金額の推移をみてみます。

全製品における2014年から2015年の処方金額推移では、377,701百万円から417,771百万円と40,070百万円の増加となりました。一方、同時点の処方金額上位10製品の合計金額推移では、102,886百万円から128,753百万円と、25,867百万円増加しています。全薬剤における2014年から2015年の増加金額に対して、同期間の上位10製品の処方金額が65%に相当します。

【全製品における処方金額推移】



【処方金額上位10製品における処方金額推移】



■ **ハーボニー、ソバルディが処方金額を急激に伸ばし、2015年10月-12月には1位・2位にランクイン。**

次に、2014年及び2015年の10月-12月時点における処方金額が多い上位10製品をみてみます。

2014年に引き続き、2015年も上位10製品にランクインしている製品の処方金額に大きな増減はありません。

一方、2015年に発売されたC型肝炎薬のハーボニーとソバルディは、初登場にもかかわらず3位以下の製品と大きく差をつけて1位と2位にランクインしています。発売から間もなく処方金額を大きく伸ばしており、ハーボニーは2014年に処方金額が1位だったアバスチンの2.5倍となる6,960百万円、ソバルディは1.7倍の4,825百万円となりました。

実患者数も順調に伸びており、ハーボニーは2015年7月-9月時点から同年10月-12月時点で115人から1,571人と1,456人、ソバルディは2015年4月-6月時点から同年10月-12月時点で118人から1,420人と1,302人増えています。

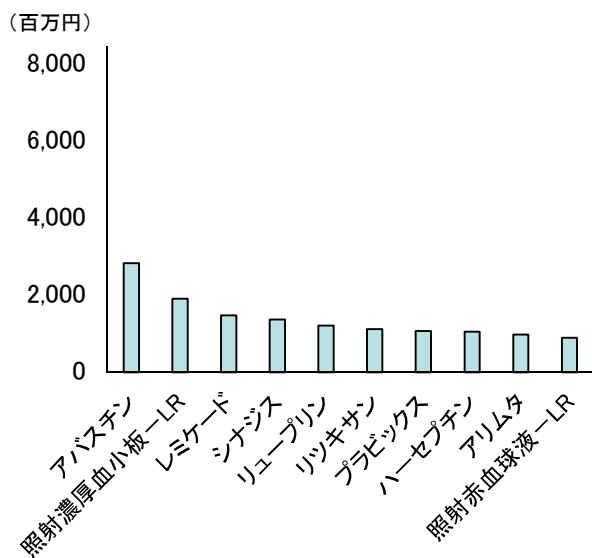
【2014年10月-12月処方金額上位10位】

順位	製品名	処方金額(百万円)
1	アバスチン	2,672
2	照射濃厚血小板-LR	1,806
3	レミケード	1,393
4	シナジス	1,297
5	リュープリン	1,147
6	リツキサン	1,062
7	プラビックス	1,009
8	ハーセプチン	1,000
9	アリムタ	925
10	照射赤血球液-LR	846

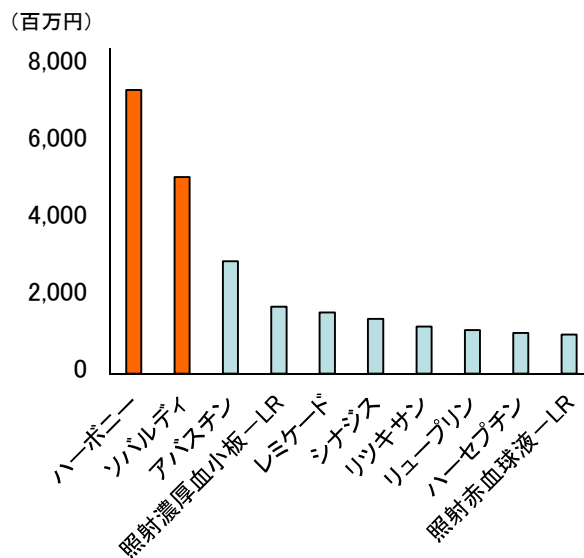
【2015年10月-12月処方金額上位10位】

順位	製品名	処方金額(百万円)
1	ハーボニー	6,960
2	ソバルディ	4,825
3	アバスチン	2,761
4	照射濃厚血小板-LR	1,645
5	レミケード	1,503
6	シナジス	1,343
7	リツキサン	1,160
8	リュープリン	1,072
9	ハーセプチン	1,002
10	照射赤血球液-LR	963

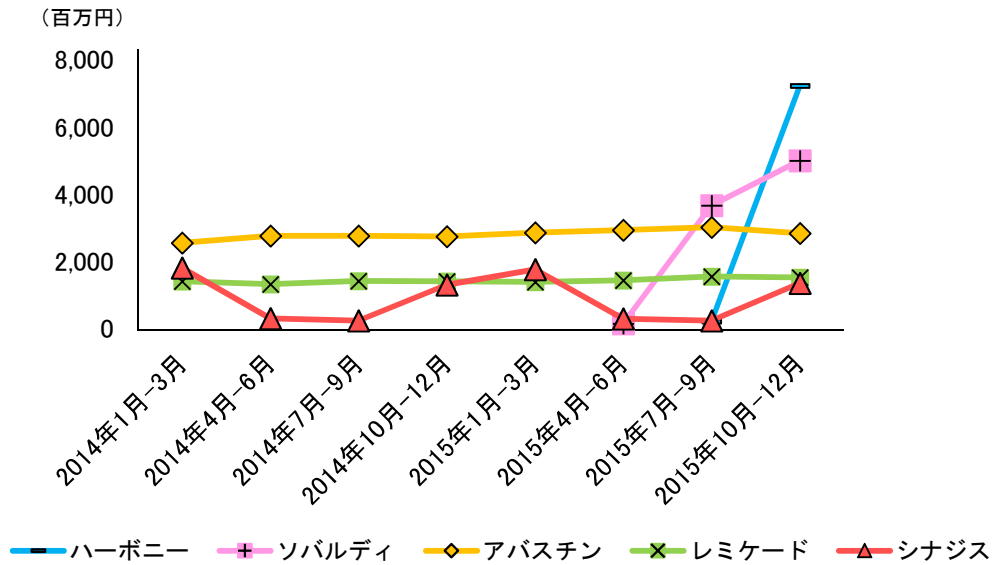
【2014年10月-12月処方金額上位10位(グラフ)】



【2015年10月-12月処方金額上位10位(グラフ)】

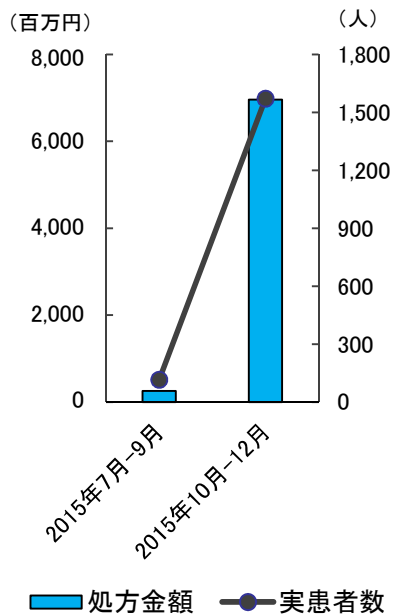


【2015年処方金額上位5位（照射濃厚血小板-LRを除く）の処方金額推移】



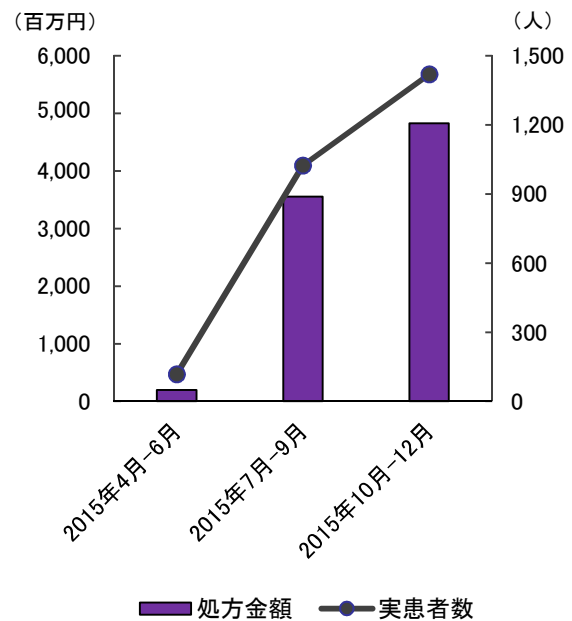
【ハーボニーの処方金額・実患者数推移】

発売：2015年9月



【ソバルディの処方金額・実患者数推移】

発売：2015年5月



	2015年7月-9月	2015年10月-12月
処方金額 (百万円)	256	6,960
実患者数 (人)	115	1,571

	2015年4月-6月	2015年7月-9月	2015年10月-12月
処方金額 (百万円)	197	3,552	4,825
実患者数 (人)	118	1,024	1,420

■ 2014年以降に発売された新薬の処方金額ランキングTOP10にC型肝炎、抗がん剤がランクイン。

次に、2014年以降に発売された製品の、2015年10月-12月時点における処方金額上位10位をみてみます。

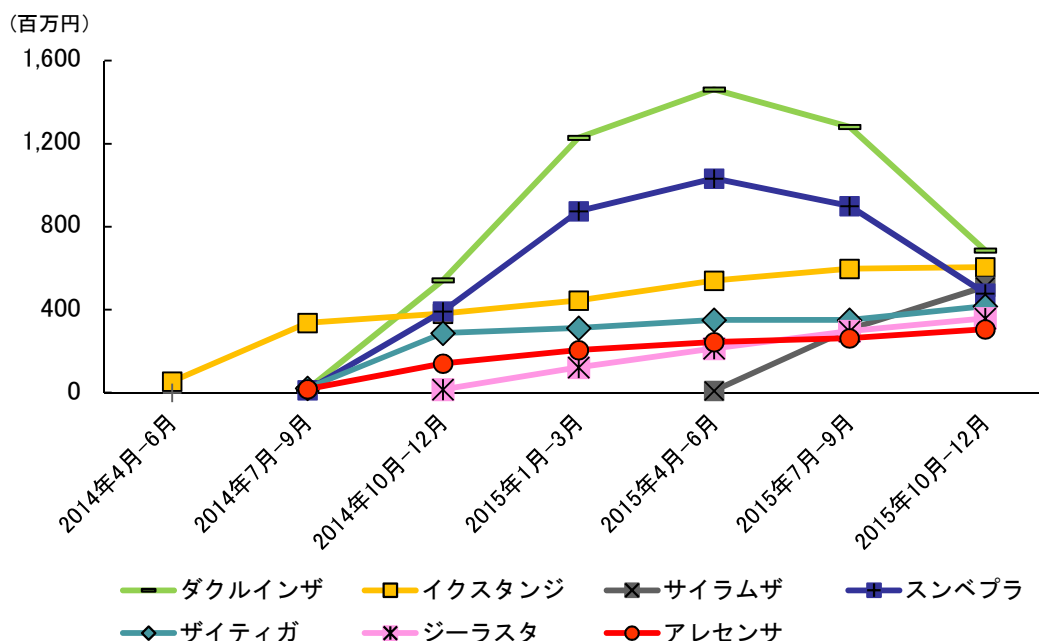
併用薬である4位のダクルインザ、7位のスンベプラはソバルディ、ハーボニーと同様にC型肝炎薬です。発売以降の処方金額推移をみてみると、発売当初は処方金額が大きく伸びていますが、ソバルディ・ハーボニーが発売された2015年4月-6月以降は減少しています。

その他、ジーラスタを除くイクスタンジ、サイラムザ、ザイティガ、アレセンサは抗がん剤であり、発売以降順調に処方金額を伸ばす結果となりました。

【2014年以降に発売された新薬の処方金額ランキング】

順位	製品名	発売	2015年12月における処方金額合計（単位：百万円）
1	ハーボニー	2015年9月	6,960
2	ソバルディ	2015年5月	4,825
3	照射赤血球液-LR	2014年8月（照射赤血球濃厚液-LR「日赤」からの名称変更）	963
4	ダクルインザ	2014年9月	685
5	イクスタンジ	2014年5月	604
6	サイラムザ	2015年6月	510
7	スンベプラ	2014年9月	478
8	ザイティガ	2014年9月	416
9	ジーラスタ	2014年11月	358
10	アレセンサ	2014年9月	306

【2014年以降に発売された新薬における上位処方金額の推移】
（ハーボニー、ソバルディ、名称変更の照射赤血球液-LRは除く）



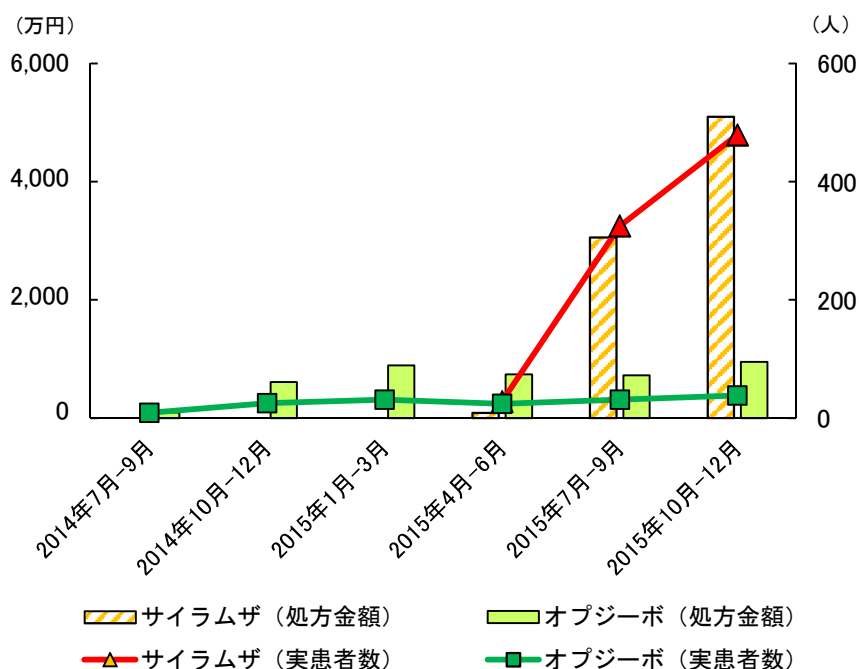
■ **点数設定方式Dに分類されたオプジーボは、発売以降処方金額・実患者数ともに大きく増加。**

最後に、2016年診療報酬改定において点数設定方式D(※)に分類されたサイラムザ、オプジーボの処方金額推移と実患者数をみてみます。

胃がんの治療薬であるサイラムザは、2015年6月に発売以降、処方金額・患者数共に大きく伸ばしています。悪性黒色腫の治療薬であるオプジーボは、2014年7月に発売しました。処方金額・実患者数の推移に多少の波はあるものの、ゆるやかに両者を伸ばしています。

(※)点数設定方式Dとは、入院期間によらず一律の診療報酬を支払う仕組みのこと。入院初日の診療報酬が最も高くなるため、平均在院日数の短縮に繋がる。

【サイラムザ、オプジーボの処方金額・実患者数推移】



【DPC:060020xx99x7xx 内容:胃の悪性腫瘍 ラムシルマブ 製品名:サイラムザ】

	2014年7月-9月	2014年10月-12月	2015年1月-3月	2015年4月-6月	2015年7月-9月	2015年10月-12月
処方金額 (万円)	—	—	—	901	30,587	51,029
実患者数 (人)	—	—	—	28	325	479

【DPC:080005xx99x2xx 内容:黒色腫 ニボルマブ 製品名:オプジーボ】

	2014年7月-9月	2014年10月-12月	2015年1月-3月	2015年4月-6月	2015年7月-9月	2015年10月-12月
処方金額 (万円)	980	6,083	8,940	7,380	7,219	9,517
実患者数 (人)	9	25	31	24	31	38

【調査概要】

- 調査手法: 当社が保有する「診療データベース」より抽出分析
- 調査対象: 二次利用の許諾を得た242病院の急性期病院(がん拠点病院99病院を含む)のうち、調査対象期間のデータがすべて揃っている病院155病院、約648万人
- 調査期間: 2014年1月～2015年12月